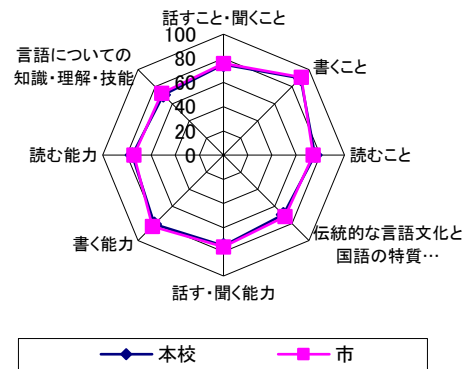


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	75.0	75.9	72.1
	書くこと	90.0	91.0	79.2
	読むこと	75.6	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.8	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	75.0	75.9	72.1
	書く能力	81.0	83.3	72.2
	読む能力	75.6	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	70.4	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話し合いの内容を聞く」の正答率は100%である。話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞きとることに一定の成果が見られる。 ●「司会者の役割を理解して、計画的に話し合う」設問の正答率は、市の平均を下回っている。話し合いのテーマに合った発言をするよう、発表者に指摘するつもりで、適切な言葉で書くことに課題が見られる。	・国語をはじめ、他教科、領域の中で話し合いの司会者を経験する機会を意図的に作っていく。 ・円滑に話し合いを進めるために、司会者としての自分の考えを表現する司会進行に努めさせる。 ・話し合いなどにおいて、話の趣旨や要点を適宜確認しながら論点に合った話し合いの仕方を指導する。
書くこと	○自分の意見とその理由を区別して書くことでは、100%の正答率であり、成果が見られる。 ●「141文字～200文字で作文する」設問や「その意見に賛成する理由」を書くでは、市の平均を下回っている。自分の考えを決められた字数で書くことに課題が見られる。	・テーマを決めて自分の考えを書いたり、字数制限などを設けて取り組ませたりして、条件付きの文章を書く力を育む。 ・日記指導等を活用し、句読点やかぎなどの使い方を正しく身に付けさせる。 ・文章のつながりや全体の構成を意識して書くように指導する。
読むこと	○「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」内容の平均正答率は、市平均より高い。特に、登場人物の様子や説明文の内容を的確に読み取る設問の正答率は市平均を大幅に上回っている。 ●資料とパンフレットを読み取る内容の正答率は、市平均を下回っている。「文と文の相互関係を読み取る」「与えられた情報を読み取り、適切な内容を補って文章を書く」ことに課題が見られる。	・読解能力を育むために、叙述に即した読みの指導を行うこと、多様な文章に触れられるよう、読書活動の充実を図る。 ・資料から、何を表しているのか、どんなことを伝えたい資料なのかをていねいに考えさせる。 ・説明文では、内容を整理するために、段落やまとまりの要点を簡単にまとめる活動に重点を置く。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○第5学年の配当漢字に関する設問の平均正答率は、市平均より高い。第5学年漢字配当表に示されている漢字の読み書きに一定の成果が見られる。 ●言葉の学習に関する設問の平均正答率は市平均を下回っている。熟語の構成や俳句への理解、敬語の使い方に関し課題が見られる。	・学習した語句を確実に定着させるために、習得した語句を文章の中で進んで適切に使うよう、日常的に確認させながら継続的に指導する。 ・日常から敬語を活用するとともに、尊敬語と謙譲語の違いと使い方を指導していく。